

\*\*\*\*\*  
**赤潮情報(定期赤潮調査結果)**  
 \*\*\*\*\*

鹿児島県水産技術開発センター  
 平成25年5月22日

鹿児島湾 赤潮情報 No.4

[1] 5月21日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

調査全域で、有害種による着色域は確認されませんでした。  
 有害種については、5ヶ所の10m層でシャットネラ マリーナを各1cell/ml、3ヶ所の10m層でコクロディニウム ポリクリコイデスを3~4cells/ml確認しました。またセラチウム属を1~43cells/ml確認しました。珪藻類は全体的にやや少ない状況でした。

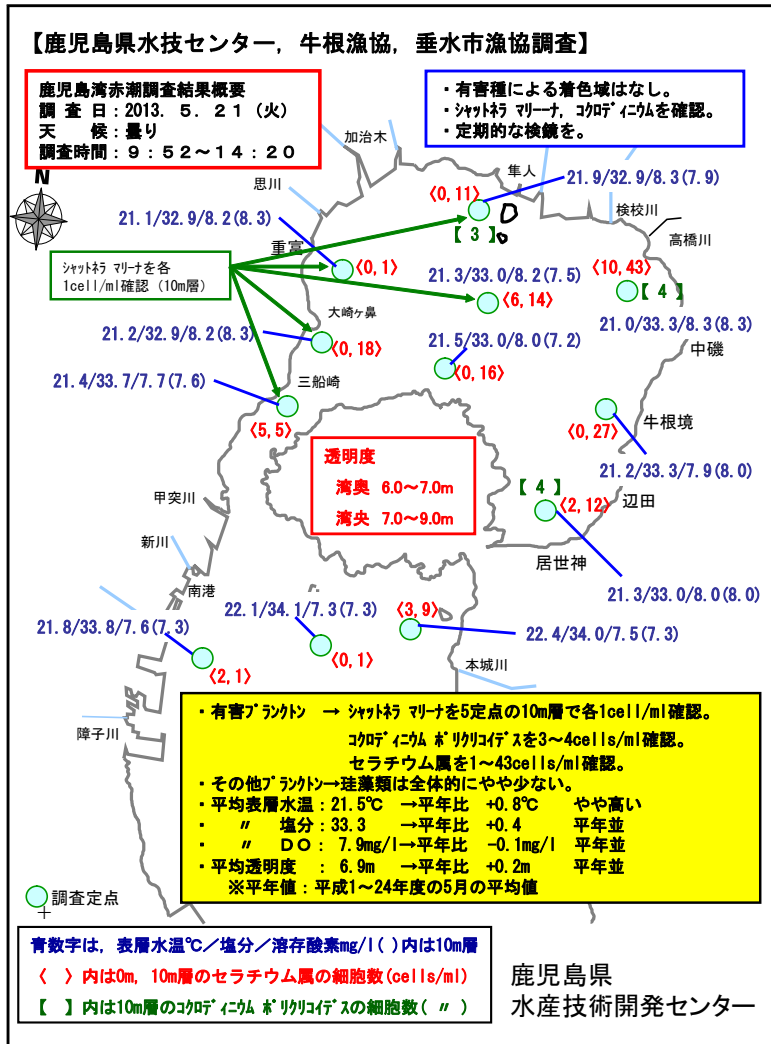
(2) 海況

表層水温は湾央部で21.8~22.4℃、湾奥部で21.0~21.9℃と平年同時期よりやや高く、塩分は32.9~34.1と平年同時期並み、透明度は6.0~9.0mで平年同時期並みとなっています。

水温：平均	21.5℃	湾奥部	21.3℃	湾央部	22.1℃
塩分：平均	33.3	湾奥部	33.1	湾央部	33.9
透明度：平均	6.9m	湾奥部	6.5m	湾央部	8.3m

(平年値は平成1~24年の5月の平均値)

[2] 今後の赤潮発生の予想



鹿児島湾は、水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っています。7日の調査では、着色域は確認されませんでした。有害種のシャットネラ マリーナ(1cell/ml)、コクロディニウム ポリクリコイデス(3~4cells/ml)とセラチウム属(1~43cells/ml)が確認されました。

珪藻類は全体的にやや少ない状況であり、今後の状況変化によっては、有害種が増殖する可能性もあるので、各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に漁場周辺の採水・検鏡を行い、有害プランクトンの有無など漁場環境の把握に努めて下さい。  
 (次回調査は6月上旬を予定)

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(PC用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>